



令和5年度

教育目標「言葉と心のキャッチボール」

新発田市立豊浦中学校 Grand Design

学校に集う子どもも大人も幸せな学校 ～つながりの中で学び、成長する～

めざす生徒像

- 夢や希望をもち、目標に向かって粘り強く挑戦し続ける生徒
- 物事の良し悪しを判断し、自ら考え、進んで行動できる生徒
- 自他を尊重し、時と場に応じた礼儀正しい言動がとれる生徒

豊中生の合言葉 あ（挨拶）じ（時間）さ（作法・礼儀）い（いじめをしない、見逃さない）

確かな学力の育成

豊かな心の育成

健康な心身の育成

めざす成果は

- 「授業の内容がよく分かる」と応える生徒が85%以上になる。
- 「授業で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と答える生徒が85%以上になる。

めざす成果は

- 「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒が80%以上になる。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答える生徒が100%になる。

めざす成果は

- 体力テストで県平均以上となる種目（48種目）の割合を50%（24種目）以上にする。
- 「平日のメディア利用の合計時間が2時間以下である」と答える生徒が60%以上になる。

その手だてとして

- 生徒の学びを軸に授業を設計する（単元デザイン）。
- 各教科の見方・考え方を働かせて、主体的・対話的で深い学びを実現する。

その手だてとして

- 話し合い活動を大切に、生徒が主体的に判断する場づくりを工夫する。
- 学校生活や学校行事の中で、生徒の自己肯定感や自己有用感を高める活動を充実させる。

その手だてとして

- 生徒の実態に応じて、体育の授業で、体力を向上させる運動を取り入れる。
- 学校と家庭が連携し、生活習慣の改善を図る。

具体的な実践事項として

- 「単元デザインシート」を作成し、学びの姿や目標を教師と生徒が共有する。
- 各教科の「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現するパフォーマンス課題を設定する。

具体的な実践事項として

- 学級活動のクラスミーティングや議論する道徳科の授業等、自分たちの課題を自分たちの手で解決する場を系統立てて実践する。
- 生徒会スクールネットワーク活動など、自他を尊重し、互いを認め合う場づくりを工夫する。

具体的な実践事項として

- 体力テストの結果を分析し、体育の時間に、体力の向上を図る運動メニューを工夫する。
- 生活習慣改善ウィークを通して生徒の実態を保護者と共有し、連携して指導にあたる。

学校経営方針

子どもの笑顔と感動があふれる、安全で安心な学校
 学校・家庭・地域が連携し、「生きる力」を育む学校
 保護者や地域から親しまれ信頼される、開かれた学校